

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公開番号】特開2008-72356(P2008-72356A)

【公開日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-012

【出願番号】特願2006-248334(P2006-248334)

【国際特許分類】

H 04 N 1/04 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/12 Z

H 04 N 1/04 105

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月16日(2009.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

図4a～図4cの(a)乃至(g)は、図1の画像読み取り装置による原稿流し読み時におけるスキャナユニットの状態を模式的に示す図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

原稿の読み込み及び排紙が全て完了すると、図4cの(g)に示すように、スキャナユニット209を矢印の方向に移動させる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

図5a～図5bの(a)乃至(f)は、図1の画像読み取り装置による原稿反転時におけるスキャナユニットの状態を模式的に示す図である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

図4a～図4cの(a)乃至(g)の一連の動作により(ただし、N枚目の原稿を読んでいる最中には、(N+1)枚目の原稿の給送を行わず、かつ、原稿裏面読み取り部17を使用しないものとする)、原稿を排紙部に噛ませた状態で停止させる。(a)。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0072】

図7において、まず、ステップS_8_01で初期化処理の開始を待つ。初期化処理の開始を受けたらランプ305を消灯する(ステップS_8_02)。そしてランプ305を消灯した状態で黒レベル調整を行う(ステップS_8_03)。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0073】

黒レベル調整では、CIS308が黒色を読み取った時の黒データ出力を調整する。黒レベル調整の終了を受けてランプ305を点灯する(ステップS_8_04)。ランプ305が点灯したら、一度CIS308で画像読み取りを行い(ステップS_8_05)、黒ベタ部材603(黒帯)が検知できるか否かを判定する(ステップS_8_06)。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

黒ベタ部材603が検出できていた場合には、移動ガラス18を一旦逆方向に(後述する図8で示す方向B)に所定距離だけ移動させる(ステップS_8_07)。この所定距離とは、初期状態において読み取り位置が黒ベタ部材603内のどの位置にあっても確実に黒帯領域を抜けるだけの移動量である。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0075】

ステップS_8_06において黒帯検知できなかった場合、あるいはステップS_8_07においてバック移動した後は、移動ガラス18を順方向(後述する図8で示す方向A)に移動させ(ステップS_8_08)、CIS308で画像を読み取る(ステップS_8_09)。そして、黒ベタ部材603(黒帯)が検知できるか否かを判定し(ステップS_8_10)、黒帯検知するまで上記ステップS_8_08からステップS_8_10の処理を繰り返す。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0076

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0076】

その後、ステップS_8_10において、黒ベタ部材603が検知できた時点で移動ガラス18の駆動を停止し(ステップS_8_11)、その位置を移動ガラスの基準位置(ホームポジション=HP)と設定する(ステップS_8_12)。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 7 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 7 9】

H P が決まった後は、ステップ S813において、移動ガラス18を白板601に対向する所定の白板読み位置まで移動させ、シェーディング調整を行う（ステップ S814）。その後、ランプ305を消灯し（ステップ S815）、移動ガラス18を所定の画像読み位置まで移動させて（ステップ S816）、原稿裏面読取部17の初期化処理を終了する。